

○いの町過疎地域持続的発展計画（案）に対する意見公募結果について

実施期間 令和7年12月22日（月）～令和8年1月16日（金）

提出者数 1件

件数 2件

該当箇所	ご意見	町の考え
<p>P.2 第1基本的な事項 表1-1（2）人口の見通し</p>	<p>「出典：第3次振興計画基本構想」に関して ※推計値が最新のものは無い。 「社人研」「地域別将来推計人口 令和5年（2023年）推計」の、いの町の人口は、令和7年19,592人、令和12年17,836人、令和17年16,062人の推計だ。このグラフの欄外に、「社人研（令和5年推計）では、令和7年19,592人、令和12年17,836人、令和17年16,062人となっている」などの補則をするべきだと思う。令和7年国勢調査の確定人口と、この数値の比較が重要だからだ。振興計画の数値を基本に、最新のものにアップデートすることが大切。</p>	<p>P.2 グラフにつきまして、総務省通知の記載例では、地方人口ビジョンを転記することとなっておりますので、令和7年4月策定のいの町第3次振興計画基本構想P.8図4将来人口の推計グラフを転記しております。 令和7年実施の国勢調査結果との比較も重要と考えておりますので、いただきましたご意見は、今後の計画見直しの参考にさせていただきます。</p>
<p>全体を通して</p>	<p>全体を通して 第3次振興計画 資料編 P.14『目標人口17,000人』だが、社人研推計は16,062人。約1,000人の大きな差がある。</p>	<p>第3次振興計画における目標人口は、社人研推計をベースとし、町の施策を踏まえ、移住・定住者数の目標値を加味しております。</p>

	<p>従来の「移住促進に努める」で、目標の達成ができるのか、疑問に感じる。現在の諸々の計画では「Uターン」は、「移住」に含む、と聞いている。</p> <p>だが、Uターンを前面に出して「いの町へ帰ってきませんか」という発信が必要。そのためには「帰りたくなる町」の取り組みも必要。『Uターン』政策に力を入れることを望む。</p>	<p>現在取り組んでおります移住・定住施策にはUターン者に対する施策もございます。Uターン・Iターンを含め町外から幅広い年代の方々に移住・定住していただくことを念頭に置き、これまでの取り組みを継続するとともに、施策の充実を図り、情報発信の強化にも努めてまいります。今回いただきましたご意見を今後の施策検討の参考にさせていただきます。</p>
--	---	--